

2013年1月 竹パウダーニュース

「春の稲作に向けて竹パウダーづくりの開始」

昨年は「山内自治振興区米づくり研究会」にとって米コンクール優勝など輝かしい成績を収めることができ、飛躍の年でありました。

新年を迎え、さらなる前進をと、心に期してところです。

今年の米作りに向け、研究会のメンバーで「竹肥料」の原料となる竹パウダーづくりを開始しました。切り出した竹を木材破砕機でチップやパウダー状にし、牛の堆肥や米ぬかと混ぜ発酵させます。配合比はパウダー2に対して、堆肥・米ぬか1の割合で行います。数日すると発酵熱で湯気がでてきます。途中で切り返しをしながら、4月～5月の散布までに熟成した肥料ができます。

この竹肥料を田んぼに散布することで、乳酸菌や酵母菌などの有用微生物が増え、土壌中の有機物を分解、根から吸収されやすい水溶性炭水化物（アミノ酸など）になると考えられています。

竹肥料を使った米作りも4年目を迎え、栽培技術も確立しつつありますが、美味しい米の指標である「食味値・味度値」を上げる栽培の研究をこれからも続けていきます。

現在、「山内自治振興区米づくり研究会」では、意欲を持って品質の向上に取り組む会員を募集しています。

今年になって、10名の新会員の申し込みがあり、これからともに研鑽を積み「里山の夢」のブランド化に向けて歩んでいきたいと思っておりますので、ご支援・ご協力の程よろしくお願いいたします。



2013年2月 竹パウダーニュース

「高島屋大阪店で“里山の夢”試食販売！！」

天下の台所と言われる食の街大阪で「山内自治振興区米づくり研究会」の山内ブランド米“里山の夢”が販売されることになりました。

昨年11月に行われた、第2回大阪府民のいっちゃんうまい米コンテストで当研究会の「あきさかり」がグランプリ最高賞の「いっちゃんうまい賞」を受賞し、一躍知名度を上げました。

このお米を大阪府中央区難波にある老舗デパート“高島屋”で販売していただくこととなり、販売初日の2月13日に全農広島、JA庄原の担当者と一緒に生産者の代表として私も販売促進のため行かせていただきました。

地下食品売り場にある『おこめの美米庵』で特設販売コーナーを設けていただき、“のぼり”や“のれん”を飾り、ハッピーを着てパンフレットを配布しながらの試食販売を行いました。

試食をされた多くのお客さんから「甘味や粘りがあって美味しい」との高評価をいただき、試食用1.5kg袋（1,000円）で初日60個のお買い求めをいただきました。

今回は数量に限られるため、2週間で500個の限定販売となってしまいましたが、今年は栽培面積を増やして安定供給ができればと考えています。

高島屋は高級志向の客層が多く、販売しているお米も“魚沼産コシヒカリ”をはじめとする有名ブランド米ばかりで、価格帯も5kg4,000円前後です。

今後更に、山内ブランド米“里山の夢”が大阪の消費者に受け入れてもらうためには、より一層の安心・安全で美味しい米づくりに努力していく必要があると思います。

そして、有名ブランドの仲間入りを果たすとともに、生産者の所得向上につながっていくよう「米づくり研究会」で研鑽努力を積んでいきます。



2013年3月 竹パウダーニュース

「“里山の夢” 栽培研修会を開催！！」

3月5日に山内自治振興センターにおいて、「量より質の営農～美味しい米作りは土づくりから」のテーマで講師を招き、会員22名が参加しての栽培研修会を行いました。

講師には秋田市から吉田義男先生においでいただき“米ぬか、大豆くず、ナタネ油かす”等の自然有機リサイクル資材を使った循環型農業について学びました。私たちが行っている竹のリサイクル“竹肥料”を使った取り組みに共通する点も多く、土壌を肥沃にして自然循環的な稲作を行うことで、有益な微生物（こうじ菌・納豆菌・乳酸菌・酵母菌・放線菌）の繁殖につながり、健康な稲から食味を左右する有機ミネラルやアミノ酸が作られ、美味しい米がとれるメカニズムがあることを再認識しました。

さらに、良質な米を栽培する上でのポイントとして、①苗作りは薄まき（催芽粃で150g以下）、②荒おこし・代掻きは浅く（10cm程度）、③田植えは小株（3株程度）で浅植え（3センチ程度）を実践することで、根張りがしっかりした極太な茎でしっかり太陽の光を受ける葉が成長し、十分な光合成のできる稲に育つと指導してもらいました。特に苗作りは“苗八作”といい、子育てでいう“三つ子の魂百まで”に共通しているようです。

私も昨年、このポイントに沿って栽培してみて効果を実感しているところです。今年の栽培に当り、皆さんも取り組んでみられたらどうでしょうか。



2013年4月 竹パウダーニュース

「“里山の夢” 栽培確認会を開催！！」

昨年に引き続き、地域マネージャーとして地域のブランド米づくりのお世話をさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

4月8日に山内自治振興センターで25年産米「里山の夢」の栽培確認会を開催しました。昨年の「大阪府民のいっちゃんうまい米コンテスト」総合最優秀賞受賞などの好成績を受け、今年は「山内自治振興区米づくり研究会」の生産者会員も栽培面積も倍増の31名と16ヘクタールになりました。

指導機関から庄原市農業振興課、農業指導員、広島県立大学の先生方にご出席をいただき、土壌診断結果の解説や新品種“あきさかり”の肥料設計等について検討を行いました。

さらに高品質のお米を目指して「安心！広島ブランド」の認証面積を増やし、減農薬と化学肥料の50%以上の節減に取り組むことを提案しました。また、竹パウダーの圃場への散布量や苗作りの大切さを認識し、春の作付けに向けてスタートを切りました。

